## 黙想:三位一体の主 日

黙想のテーマ:「聖三位一体はわたしたちの魂の中に住んでおられる」「御父と御子と聖霊の愛」「聖霊はわたしたちをキリストと御父に導かれる」

聖三位一体はわたしたちの魂の中に 住んでおられる

御父と御子と聖霊の愛

聖霊はわたしたちをキリストと御父 に導かれる

至聖なる三位一体の祭日は、復活祭 の間にわたしたちに啓示されたこ と、すなわちキリストの死と復活、 御父の右の座への昇天、そして聖霊 降臨における聖霊の注ぎ、すべてを 包含しています。 この祭日の典礼 は、イエス・キリストによってわた したちに示された聖三位一体を賛美 し崇拝することから始まります。 「全能の神、父と子と聖霊にとこし えの賛美。神はわたしたちにいつく しみを示してくださった」(入祭 唱)。聖三位一体は神の存在につい ての神秘であるだけではありませ ん。それは特別な意味で、世界と私 たち一人一人に対する神の深い愛の 神秘でもあります。

「わたしは父と子と聖霊のみ名によって、あなたに洗礼を授けます」と司祭はわたしたちの頭に三度水を注ぎながら言います。聖ヒラリウスは次のように述べています。「イエスは父と子と聖霊の名によって洗礼

を授けるように命じられた。それは、創造主と独り子すると関わることを告ているのはなっているのはないのはないのなったとのがであることのがはいるのがはいるのかはいるのかはいるのかはいるのかはいるのといるのといるのといるのといるのである」。 III

聖なる三位一体は、私たちを神の子として、神との親密な結びつきへと導いてくださいました。洗礼の水は、わたしたちのうちに三位かに人がでしたちはその愛の関係のために利造されました。父と子と聖霊に栄力を帰すためです。聖ホセマリした。 光を帰すためです。ことを覚え まれたしが何度も言ったことを覚え

ているでしょう。神は恩寵のうちに

[2]

わたしたちは神の名において洗礼を 受けました。十字架のしるしを自ら の上に記すたびに、この名を思い起 こします。聖体祭儀は十字架の印で 始まり、十字架の印で終わります。 そして、祈り始めるときも祈り終え るときも同じことをします。家に出 入りするときや、その他さまざまな瞬間に十字架の印をする習慣がある人もいます。「十字架の印と神の御名のうちには、信仰を生み出し、祈りを力づける知らせが含まれています」。[3]

聖パウロは思い起こさせます。「希 望はわたしたちを欺くことはありま せん。わたしたちに与えられた聖霊 によって、神の愛が私たちの心に注 がれているからです| (ローマ5・ 5)。時が満ちたとき、神は、聖霊 なる神の恵みによって、子なる神の 贖いを通して、わたしたちを父なる 神の子とするために、神の親密さを わたしたちに示すことを望まれまし た。神の愛はわたしたちの救いと聖 化の業を続けています。カルカッタ の聖テレサは、ある日、路上で潰瘍 に覆われた老婦人を見つけ、彼女の 体を拭き始めました。すると老婦人 は尋ねました。「なぜこんなことを するのですか?人々はこのようなこ

とをしません。誰に教えられたのですか?」聖テレサは、「わたしの神がわたしに教えてくださったのです」と答えました。老婦人は「その神は誰ですか?」と尋ねました。そして聖テレサは簡潔にこう言いました。「あなたはすでにわたしの神は愛と知っています。わたしの神は愛と呼ばれています」。

神は愛である。その神は単一の位格 ではなく、実体として一つである三 位一体の神です(叙唱参照)。「こ の愛は、感傷的な愛でも、感情的な 愛でもありません。それは、あらゆ る生命の起源である御父の愛です。 十字架トで死んで復活した御子の愛 です。人類と世界を新たにする聖霊 の愛です | 。 🖽 神は遠く離れたとこ ろに住んでいて、人類の運命に無関 心な孤独な存在ではありません。神 はわれわれの家族であり、われわれ に注がれている無限の命の源です。

イエスは最後の晩餐の会話の中で、 弟子たちを慰め、力づけるために聖 霊が送られることを約束されまし た。主は聖霊を真理の霊と呼びま す。「その方、すなわち、真理の霊 が来ると、あなたがたを導いて真理 をことごとく悟らせる。その方は、 自分から語るのではなく、聞いたこ とを語り、また、これから起こるこ とをあなたがたに告げるからであ る | (ヨハネ 16・13)。 聖霊は救い 主のメッセージに新しいことを付け 加えません。「その方はわたしに栄 光を与える。わたしのものを受け て、あなたがたに告げるからであ る | (ヨハネ16・14)。イエスは御 父から聞いたこと、受け取ったこと だけをわたしたちに語られます。 「聖霊はキリストの代弁者です。聖 霊はわたしたちをキリストから遠く 離れた別の場所に導くのではなく、

わたしたちをキリストの光へとさらに深く導いてくださいます |。 ss

ナジアンゾスの聖グレゴリオスは 言っています。「旧約聖書は、御父 を明瞭に、御子を漠然と告げ知らせ ました。新約聖書は御子を明らかに し、聖霊の神性を垣間見せました。 今や、聖霊はわたしたちの間ではっ きりと認められ、わたしたちにご自 分をはっきりと示しておられま す」。同弁護者である聖霊は「信者 たちに、それぞれが理解できるすべ ての霊的真理を教え、すでに知られ ているものを愛し、まだ知られてい ないものを求める愛の心を燃やすよ うに促します」。
「対

「聖霊の働きを伴ったこの愛は、地上と聖霊を歓迎するすべての人間の心に新しい光を照らしました。それは、わたしたちが愛と憐れみの良い実を結ぶことを妨げている暗い隅、困難を明らかにする光です」。 図 香

水の瓶が割られると香りが至る所に 広がるように、キリストの体が十字 架上で砕かれたとき、キリストの がわたしたちの心に注がれました。 切わたしたちは、人生に意味を与える 愛を体験し、それを証しすることが に、三位一体の交わりに入ることが できるように、神の娘、母、花嫁 ある聖母マリアにお願いします。

- [1] 聖ヒラリウス、Treatise on the Holy Trinity, Book 2,1,33.35.
- [2] 聖ホセマリア、説教のメモ、 1972年12月8日。
- [3] ベネディクト十六世、「お告げの祈り」でのことば、2010年5月30日。
- [4] フランシスコ、「お告げの祈り」でのことば、2013年5月26日。

- [5] ベネディクト十六世、説教、 2005年5月7日。
- [6] ナジアンゾスの聖グレゴリオス、Discourse 31、25-27 (PG 36、159)。
- [7] 聖アウグスティヌス、Treatise 97.1 (On the Gospel of Saint John)。
- [8] フランシスコ、「お告げの祈り」での言葉、2017年6月11日。
- [9] 聖ヒッポリュトス、Commentary on the Song of Songs 13.1参照。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-sanmi-ittai/ (2025/12/15)